

2021年度 三重短期大学入試改革の概要

三重短期大学では2021年度入試（2020年度内に実施）より、下記の新制度で入学者選抜を実施します。

1. 関連分野特別選抜（総合型選抜）による入学者募集

(1) 受験資格 次の条件のすべてに該当することを要します。

- (ア) 高等学校もしくは中等教育学校（国・公・私立、全日・定時・通信制を問わない。）において、福祉、建築、居住、デザイン、環境のいずれかを中心に学習する学科もしくはコースを入試実施年度の3月に卒業見込の者。
- (イ) 人物、学業ともに優れている者。（ただし、学業については評定平均値3.5以上であること。）
- (ウ) 合格した場合、必ず入学できる者。

(2) 入試の概要

学科・専攻・コース			募集人数	試験日	合格発表	試験科目・配点
生活科学科	生活科学専攻	生活福祉・心理コース	5名程度	10月下旬	11月上旬	書類審査*1 50点
		居住環境コース				面接 150点
						プレゼンテーション*2 100点
						合計 300点満点

*1：書類審査では、調査書を用いて「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価をします。なお、書類審査の基準、評価方法等に関する問合せは一切受け付けません。

また、本学指定の学習計画書の提出が必要です。

*2：プレゼンテーションでは高校での関連分野の学びに応じ、以下のテーマについて10分程度でお話いただきます。なお、メモやノート等の持ち込みはできません。

- ・社会福祉分野：社会福祉施設や事業所での見学・実習等で学んだこと、考えたこと。
- ・居住・建築・デザイン分野：受験生自身の製作物に関して工夫した点、苦労した点（本分野の受験生に限り、プレゼンテーションで本人が製作した作品または作品集（試験当日に本人自身が持参したものに限り）を提示することができる。）
- ・環境分野：関心をもっている環境問題についての説明と、その問題をどうすれば解決できると思うか。

2. 学校推薦型選抜による入学者募集（一般公募推薦）

(1) 推薦条件 次の条件のすべてに該当することを要します。

【法経科第1部・生活科学科】

- (ア) 高等学校もしくは中等教育学校（国・公・私立、全日・定時・通信制を問わない。）を入試実施年度の3月に卒業見込の者。
- (イ) 人物、学業ともに優れている者。（ただし、学業については評定平均値3.5以上が望ましい。）
- (ウ) 学校長の推薦を得た者。
- (エ) 合格した場合、必ず入学できる者。（法経科第2部との併願可。）

※津市特別推薦枠

本学の地域社会に対する使命にかんがみ、募集人員の内、次に掲げる人員を上限に津市特別推薦枠を

設けます。

[法経科第1部：20名、生活科学科食物栄養学専攻：10名、生活科学科生活科学専攻：20名]

津市特別推薦枠で出願する者は、上記(ア)から(エ)に加え、次の条件に該当することを要します。ただし(イ)における評定平均値は3.3以上が望ましいものとします。

「入学の日（4月1日）の1年前から引き続き津市内に住所を有する者、またはその者の配偶者もしくは一親等の親族である者」

【法経科第2部】

(ア) 高等学校もしくは中等教育学校（国・公・私立、全日・定時・通信制を問わない。）を入試実施年度の3月に卒業見込の者。

(イ) 学校長の推薦を得た者。

(2) 推薦可能人員

津市特別推薦枠かどうかにかかわらず、1校あたりの推薦人員に制限はありません。

(3) 入試の概要

学科・専攻・コース		募集人数	試験日	合格発表	試験科目	
法 経 科 第 1 部	法律コース	50名程度	11月下旬 土曜日	12月上旬	書類審査*1 50点 面接 150点 小論文(60分)*2 100点 合計 300点満点	
	経商コース					
生活科学科	食物栄養学専攻	25名程度				
	生活科学専攻	生活福祉・心理コース				45名程度
		居住環境コース				
法 経 科 第 2 部		25名程度				11月下旬 日曜日

*1：書類審査では、調査書を用いて「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価をします。なお、書類審査の基準、評価方法等に関する問合せは一切受け付けません。

*2：小論文の出題形式は、「提示された文章を読み、その内容についての理解を問う設問に答え、さらに自己の考えを述べる」形式で行います。

*3：プレゼンテーションでは「関心をもっている現代の社会問題」について5分程度でお話いただきます。なお、メモやノートなどの持ち込みはできません。

3. 一般選抜による入学者募集

(1) 入試の概要

学科・専攻・コース		募集人数	試験日	合格発表	試験科目	
法 経 科 第 1 部	法律コース	40名程度	2月上旬	2月中旬	書類審査*1 50点 国語(60分) 100点 小論文(60分)*2 50点 英語(60分) 100点 合計 300点満点	
	経商コース					
生活科学科	食物栄養学専攻	20名程度				
	生活科学専攻	生活福祉・心理コース				30名程度
法 経 科 第 2 部	25名程度	3月上旬 又は中旬				

*1: 書類審査では、調査書等を用いて「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価をします。既卒の受験生が、高校卒業後の資格取得や海外留学経験等を評価資料とすることを希望する場合には、それを証明する文書(認定書、合格証書、査証、パスポート等の写し)を出願書類に同封してください。高等学校卒業程度認定試験の合格者が、中学卒業後の資格取得や海外留学経験等を評価資料とすることを希望する場合も同様です。なお、書類審査の基準、評価方法等に関する問合せは一切受け付けません。

*2: 法経科第1部および生活科学科における小論文の出題形式は、「提示された表やグラフなどから傾向や特徴を読み取り、それに対して意見を述べる」形式で行います。

*3: 法経科第2部における小論文の出題形式は、「提示された文章を読み、その内容についての理解を問う設問に答え、さらに自己の考えを述べる」形式で行います。

*4: プレゼンテーションでは「関心をもっている現代の社会問題」について5分程度でお話いただきます。なお、メモやノートなどの持ち込みはできません。

4. 共通テスト利用選抜による入学者募集

(1) 入試の概要

学科・専攻・コース		募集人数	合格発表	試験科目	
法 経 科 第 1 部	法律コース	10名程度	3月中旬	本学での個別学力検査等は課さない。 ※共通テスト 利用選抜による出題教科・科目等については後掲の一覧表を参照。	
	経商コース				
生活科学科	食物栄養学専攻	5名程度			
	生活科学専攻	生活福祉・心理コース			20名程度
法 経 科 第 2 部	25名程度				

- (2) 共通テスト利用選抜の指定教科・科目について
 共通テストで本学が指定する受験すべき教科・科目は次頁表 1 のとおりです。

5. 社会人特別選抜による入学者募集

(1) 出願資格

大学入学資格を有し、入試実施年度の3月31日までに22歳に達する者。

(2) 入試の概要

募集学科	募集人数	試験日	合格発表	試験科目
生活科学科 生活科学専攻	若干名	11月下旬	12月上旬	書類審査（面接の参考程度）*1 面接 50点 小論文(60分)*2 50点 合計 100点満点
法経科第2部	25名程度	3月上旬 又は中旬	3月中旬	書類審査（面接の参考程度）*1 面接 100点 合計 100点満点

*1：社会人特別選抜には本学指定の学習計画書の提出が必要です。

*2：小論文の出題形式は、「提示された文章を読み、その内容についての理解を問う設問に答え、さらに自己の考えを述べる」形式で行います。

[表 1] 共通テスト利用選抜において本学が指定する出題教科・科目等

学科（募集人員）	教科・科目	配点等
法経科第1部 (10名程度)	次の合計3教科3科目 ●「国語」(近代以降の文章) ●「地理歴史」(世A、世B、日A、日B、地A、地B)、「公民」(現社、倫、政経、倫・政経)または「数学」(数I、数I・A、数II、数II・B、簿記・会計、情報関係基礎)から1科目選択する。 ●「外国語」(英、独、仏、中、韓)。 ※英語はリスニングを含む	●「地理歴史」「公民」「数学」について、2科目以上を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。(注) ●配点は「国語」「地理歴史」「公民」「数学」については、100点満点を10倍し、1,000点満点。「外国語」は200点満点を5倍し1,000点満点。合計3,000点満点で合否判定。
生活科学科 食物栄養学専攻 (5名程度)	次の合計3教科3科目 ●「国語」(近代以降の文章) ●「数学」(数I、数I・A、数II、数II・B、簿記・会計、情報関係基礎)または「理科」 【①(物理基礎、化学基礎、生物基礎)】、【②(物理、化学、生物)】から1科目選択する。 ※「理科」は①のグループから2科目を選択するか、もしくは②のグループから1科目選択する。 ●「外国語」(英語)。 ※英語はリスニングを含む	●「数学」「理科」について、2科目以上を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。(注) ※理科①のグループにおいて基礎のつく科目は2科目必須となっていることから、2科目で1科目とする。 ●配点は「国語」「数学」「理科」については、100点満点を10倍し1,000点満点、英語は200点満点を5倍し1,000点満点。合計3,000点満点で合否判定。
生活科学科 生活科学専攻 (20名程度)	次の中から2教科以上3科目 ●「国語」(近代以降の文章) ●「地理歴史」(世A、世B、日A、日B、地A、地B) ●「公民」(現社、倫、政経、倫・政経) ●「数学」(数I、数I・A、数II、数II・B、簿記・会計、情報関係基礎) ●「理科」【①(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)】、【②(物理、化学、生物、地学)】 ※「理科」は①のグループから2科目を選択するか、もしくは②のグループから1科目選択する。 ●「外国語」(英、独、仏、中、韓)。 ※英語はリスニングを含む	●「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」について、2教科以上3科目を超えて受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。(注) ※理科①のグループにおいて基礎のつく科目は2科目必須となっていることから、2科目で1科目とする。 ●配点は「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」については、100点満点を10倍し、1,000点満点。「外国語」については200点満点を5倍し1,000点満点。合計3,000点満点で合否判定。
法経科第2部 (25名程度)	次の中から2教科以上3科目 ●「国語」(近代以降の文章) ●「地理歴史」(世A、世B、日A、日B、地A、地B) ●「公民」(現社、倫、政経、倫・政経) ●「数学」(数I、数I・A、数II、数II・B、簿記・会計、情報関係基礎) ●「理科」【①(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)】、【②(物理、化学、生物、地学)】 ※「理科」は①のグループから2科目を選択するか、もしくは②のグループから1科目選択する。 ●「外国語」(英、独、仏、中、韓)。 ※英語はリスニングを含む	●「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」について、2教科以上3科目を超えて受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。(注) ※理科①のグループにおいて基礎のつく科目は2科目必須となっていることから、2科目で1科目とする。 ●配点は「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」については、100点満点を10倍し、1,000点満点。「外国語」については200点満点を5倍し1,000点満点。合計3,000点満点で合否判定。

注 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」②グループにおいて2科目受験した場合は第1解答科目の得点を採用します。